



# 一中だより

## 学校教育目標 自主・練磨・敬愛

目指す学校像「笑顔と活力あふれる学校」～一人一人の「よさ」を見つけ、伸ばす～

### 「ブランド」

校長 岡島 一恵

風薫る5月、いよいよ新緑がまぶしい季節となります。新入生を新たに迎えてスタートした令和7年度も早くも1ヶ月が過ぎようとしています。校内を見て回っていると、本校が大切にしている「一中スタンダード」である「挨拶の語先後礼」や「洗心無言清掃」等の取組が、1年生にも浸透しつつあり、川越第一中学校の礼を重んじる精神が継承されていくことに感謝の気持ちをもつと同時に、導き、協働する教職員や後輩をリードする上級生、それに懸命に応えようとする1年生の生徒たちをととても誇らしく思います。多様性の時代、様々な考え方のある中、「日本人が受け継いできた『心』は大切にしたい」と感じさせてくれるそんな生徒たちの姿は、まさに本校の「ブランド」だと感じます。

昨年度話題となったドキュメンタリー映画「小学校～それは小さな社会」。日本教育における特別活動に視点をあいたこの映画の一遍では、新入生を歓迎する演奏会に向けて、練習との向き合い方に悩み苦しみながらも乗り越える小学校1年生の児童の姿が映し出されます。諦めず努力し、最後は見事な演奏を披露するその子の姿は、自信にあふれ、最後は涙なしでは見られませんでした。そして、忘れてならないのは、そこに至るまでに、その児童を励まし、一緒に悩み、寄り添ってくれた大人である担任教諭の存在があります。本校の学校教育目標の一つである「練磨」。諦めず頑張ることで見える世界を生徒たちには見てほしいし、やり遂げた気持ちを味わってほしいと思っています。そして、その世界を見せられる、達成感を味わわせることのできる教師集団でありたいと思っています。

※4月17日に学校運営協議会が開かれ、本校の令和7年度学校経営方針について御承認頂きました。下の図はそれをデザインしたものです。

